

議事概要記録

開催日時	令和6年1月12日(土) 15:00~17:00	開催場所	済生会和歌山病院7階 多目的ホール
会議種別	令和5年度 第6回理事会	議長	神藤 洋次
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	参加：田中 規仁、神藤 洋次、田原 靖子、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史、 中尾 光孝、秋田 豊和、葛原 和紀、森下 陽子、大前 嘉良、山本 須美子、 藺田 豊、橋本 安貴子、山中 拓哉、竹中 正人、藤谷 泰明 計17名		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 7. タスク・シフトシェア指定講習会 8. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県技師会リーダー育成講習会開催について <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度予算案 ・定款、細則修正案 		
決議事項 及び 継続事項	<p>開催に先立ち田中会長より新年のご挨拶。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 <p>日臨技・和臨技・渉外関連について以下のとおり報告あり。</p> <p>日臨技関係</p> <p>11月8日 災害WG Web</p> <p>11月22日 日臨技近畿支部会議 ステーションコンファレンス川崎</p>		

11月9日	和臨技 災害フォーラム講師依頼状発送	災害対策委員会
11月20日	和歌山県保健衛生医事功労者賞 贈呈式 (ホテルアバローム紀の国)	和歌山県
11月21日	ボランティア活動ができる技師の育成講習会賛助会員 協力依頼状発送	賛助会員
11月22日	日臨技貢献賞(個人)推薦の辞退について	日臨技
11月24日	日臨技 「施設実態調査」「会員意識調査」 実施への協力について	日臨技
11月27日	和歌山県知事表彰候補者の辞退について	和歌山県
11月30日	ボランティア活動ができる技師の育成講習会 開催案内	和臨技会員
11月30日	令和5年度都道府県技師会リーダー育成研修会 開催案内	和臨技会員
12月22日	令和5年度医療従事功労者賞 決定通知	和歌山県
12月27日	令和5年度和臨技精度管理報告会 開催案内	和臨技会員

以上について報告。

4. 学術部報告

栗林学術部長より報告

- ・令和5年度班長班員会議、精度管理委員会を本日開催。
- ・第24回学術部一泊合同研修会の開催について
開催日：令和6年6月22日(土)、23日(日)
場所：亀の井ホテル紀伊田辺
申込み期間：令和6年5月1日(水)～令和6年5月24日(金)
参加費：10,000円(参加形式に関わらず一律です)

今回試験的に、ニューリーダー育成研修会を同時開催で実施の予定。
ただ本来の一泊合同研修会自体のスケジュールに影響が出るようであれば、単独での開催も検討することで一致。

5. 経理部報告

丸澤経理部長より報告。

・令和6年度予算案について別紙の如く説明。

各担当理事提出予算を調整することなく、予算計上。

今後の見通しとして、物価高騰・物流/輸送費高騰については想定が必要との見解で一致。

6. 各種委員会報告

① 公益事業活動

秋田理事より報告

令和5年度全国「検査と健康展」の開催終了報告（別紙参照）

日時：令和5年11月11日（土）10時～16時

場所：イオンモール和歌山 3階 イオンホール

内容：臨床検査技師の一般市民への認知度・知名度の向上をはかる

臨床検査の説明と体験で、臨床検査に関心をもってもらうとともに、健康づくりにつながるよう、健診を啓発する。

臨床検査技師紹介コーナー：DVD 上映については今回無し

臨床検査と検査項目の紹介

検査項目の説明と相談

顕微鏡体験（2台）：血液・細胞診

超音波検査（2台）：頸動脈エコー体験(検査者および被検者)

乳房模型触診体験、検体採取、PPE 着脱 その他

来場者数：155名

【検査と健康展を終えて】

今回はイオンモールの営業担当者も来場され、すべてのブースを体験されたことと、館内では日臨技および和臨技主催の検査と健康展がイオンホールで開催されているというアナウンスが複数回放送されたことで、来場者数が155名と昨年の26%増となり、大盛況で幕を閉じました。また来場された方は各ブースを丁寧に体験されており、顕微鏡やエコー体験では、待合席が途切れることなく満席になっていたことがとても印象的でした。昨年と比較し、臨床検査や健康診断に関心を持たれる方が格段に増えているように感じました。一般市民への啓蒙活動を継続していくことも臨床検査技師の仕事であると、改めて認識した今回の検査と健康展でした。

② 定款・渉外

神藤副会長より報告

細則、定款の修正案について

細則→ 会費金額、会費納付期日の修正

地区理事数の表記

研究班名称

定款→ 理事増員について

8名以上15名以内から8名以上20名以内へ

【理事増員の主旨】

役員は、8名以上15名以内と定義されているが、昨今、医療をめぐる情勢は刻々と変化しており、従来、和歌山県臨床検査技師会で行っている事業に加えて、医療におけるデジタルトランスフォーメーションや、人口動態に関する2040年問題、医師の働き方改革によるタスクシフト/シェアなど、新たに対応すべき課題が多く、それぞれの課題に対応する理事の数が不足している。現在、15名以内とされている役員を、20名以内の増員により、種々の課題に対応することができ、会員に、より良い事業を提供することを目的とする。また、現在、和臨技理事の担い手が少ない現状があり、原因と思われるのが、検査技師の年齢構成である。今後、主力として事業を行ってほしい、40歳代全般の人数が少なく、50歳代半ばの理事が大半しめており検査技師年齢構成は、ひょうたん型となっている。そうなると次世代は30歳代半ばとなり、いきなりの世代交代では和臨技事業が立ち行かないことが懸念されるため、現時点で定員に余裕を持たせ、次年度から世代交代のために理事枠の増員を要望する。

③ 災害対策委員会

大前理事より報告。

○本年度災害フォーラム

開催日：令和5年12月17日（日）会場：JAビル11階

「― 想定外を想定内に ― 臨床検査技師が参戦する災害対応」

講師：奥沢 悦子 先生 八戸市立市民病院 救命救急センター副参事

○ボランティア活動ができる技師の育成講習会

～ あなたにもできるDVT（下肢深部静脈血栓症）検診活動 ～

開催日：令和6年2月4日

場 所：済生会和歌山病院 7階 多目的ホール

・ 下肢静脈超音波スクリーニング検査

（災害を想定した簡易装置による実技）

・ D-ダイマー検査（POCT機器の展示）

・ 弾性ストッキング取り扱い（はき方、はかせ方）

※各メーカーへ超音波診断装置・POCT 測定装置・弾性ストッキングの貸与依頼について、趣意書を発行する。

※講習会の案内に、参加者には動きやすい服装で参加していただくこと、超音波検査の講習は膝まで足を出せる服装での参加をお願いすることを案内する。

※POCT の測定サンプルについて貸与して頂けるメーカーに確認する。

※超音波診断装置の貸与に協力して頂いたメーカーのパンフレットを参加者に配布する。

※超音波講師 8 名は委員の所属施設から募集を行う。

④ 精度管理委員会

I. 報告事項

日程	内容
2/6 (火)	報告書JAMTQCシステム公開、和臨技HPへ報告書JAMTQCシステム公開
2/17 (土)	精度管理報告会

1. 進捗報告

1) 報告書について

血液部門については、参考基準範囲算出のため数社に試料送付しているが、1社より結果が未着となっているため仮報告の状態となっている。他部門については、全て受理済みであり、輸血部門が副学術部長査読中である。血液部門の最終確定および輸血部門の副学術部長査読が完了次第、校正を実施し、理事各位へ最終査読をお願いしたい。

2) 報告書公開について

2/6 (火) に JAMTQC システムならびに和臨技 HP へアップロードを予定している。和臨技 HP へは山本理事へデータ提出後、アップロードをお願いしたい。後援先への送付については、久保事務局長へデータ提出後、各所への送付をお願いしたい。

3) 精度管理報告会について

【開催日時】 令和 6 年 2 月 17 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00

【開催場所】 済生会和歌山病院 7 階講堂

⑤ 会誌編集

橋本理事より報告

・会誌「和臨技」51 巻 3 月発行に向けて準備中。

論文 7 題、オリエンテーション報告 2 題、広告掲載 32 社。

⑥ ホームページ

報告事項なし

⑦ 会報

葛原理事より報告

- ・ 2 月中の発刊を目指し準備中。

⑧ 月例行事予定表

報告事項なし

7. タスク・シフトシェア指定講習会

森下理事より報告

第 4 回目（和歌山市）終了

- ・ 開催日 2023 年 12 月 10 日（日）
- ・ 場所 和歌山ビッグ愛（会議室使用料・附属備品代 57,672 円）
- ・ 講師 自治医科大学 味村俊樹先生
和医大附属病院 看護師（2 名） 深日裕美先生、山本美子先生
- ・ 実務委員（敬称略）

神藤洋次、久保光史、栗林伴有、丸澤佳子、大前嘉良、
山本須美子、根井智佐代、森下陽子

受講者 60 名、予定通りに無事に実習修了しました。

全員和歌山県内の技師で、会員 59 名、非会員 1 名でした。

動画視聴の PC トラブルがありました。原因は会場の FreeWi-Fi に PC が接続に行こうとして作業環境が重くなったためと推測されています。PC の不調を懸念しておりましたが、そうではありませんでした。次回からは Wi-Fi 接続を切って動画上映を行います。

第 5 回目（和歌山市）

- ・ 開催日 2024 年 5 月 19 日（日）確定（前日午後、準備作業）
- ・ 場所 和歌山県 JA ビル 11F A・B・C 会議室（予約済み）
- ・ 時間 9：00～入室 18：00 退室
- ・ 講師 味村俊樹先生ご依頼済み・看護師は未定
- ・ 広報は行事予定にて実施。

ちなみに、18 日（土）の午後は準備で、13：00～18：00 の会議室を押さえています。使用料は必要ですが、勉強会や会議等で同日使用予定があれば併用できると思います。

第 6 回目（和歌山市）

- ・ 開催日 2025 年 1 月 19 日（日）
- ・ 場所 ビッグ愛 12F 会議室
- ・ 講師 味村俊樹先生、ご依頼済み。

受講状況（和臨技会員 432 名：2024/1/8 現在）日臨技 HP より抜粋

確認日	指定講習会 修了者	実技講習会 受講者	事前基礎研修 履修済み	事前基礎研修 受講中	基礎研修申 請なし（未 受講者）
2022年6月26日 (第1回開催)	8名	54名			
2022年10月30日 (第2回開催)	62名	49名			
2023年4月9日 (第3回開催)	112名	52名			
2023年12月10日 (第4回開催)	166名	60名			
2024年1月8日	226名		27名	52名	153名
2024年5月19日 (第5回開催)					
2025年1月19日 (第6回開催)					

(県外受講者、受講後退会者、非会員等も含まれています)

8. その他

○「令和5年度 都道府県技師会リーダー育成研修会」の開催について
2024年2月23日（金・祝日）JAビル11階会議室

申込み期間：1月4日～1月31日

申込み方法：申込期間内に、下記 URL よりお申込み下さい。

<https://forms.gle/LfzoSsY6RcdbjCrF7>

受講料：無料

生涯教育履修：基礎 20 点

令和6年2月23日（金）	
12:00	受付
12:30	開会挨拶&オリエンテーション
12:40-13:40	講義1 臨床検査技師の進むべき未来と次世代のリーダーに求めるもの 日本臨床衛生検査技師会 執行理事
13:45-14:45	講義2 日本臨床衛生検査技師会、都道府県臨床検査技師会の事業活動について 日本臨床衛生検査技師会 執行理事
14:45-15:00	休憩
15:00-16:40	MTS (Management by Target Setting) ステップ表 テーマ：組織管理、人材育成など病院組織内における役割について、組織目標達成に向けた事業展開の考え方について 等 ○ステップ表とは（20分） ○ステップ表を用いてグループ内でテーマの検討（30分） ○ステップ表の作成・完成（30分） ○ステップ表の発表（20分）
16:40-16:55	修了式
17:00	閉会挨拶・閉会

○令和5年度 日臨技近畿支部医学検査学会（第62回）終了報告
終了報告ならびに決算報告について田中会長、経理担当秋田理事より報告。

参加者数：会員 764 名、展示関係 58 名、学生 43 名 合計 865 名

○次年度理事会等の年間予定表の確認

審議事項

○災害時における臨床検査技師の派遣に関する協定書（案）について
田中会長より協定書案の提案あり。

（山梨県技師会の協定書をベースに作成）

他の医療団体とのすり合わせも必要。

○次年度予算案

物価、電気代等の高騰に伴う費用については引き続き注視していく。

○定款、細則修正案

細則：理事の地域定数の表記変更

定款：理事数の増員

については継続審議となった。

以上の審議事項について全会一致で承認。

●次回 令和6年度 第1回理事会

2024年4月6日（土）15：00～ 済生会和歌山病院（予定）

記録作成

令和6年1月23日

氏名

久保 光史

提出

令和6年1月23日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可